

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム自由の丘 さくら	評価実施年月日	H20 11.1
評価実施構成員氏名	岡、三浦、本間、山中、伊藤、浅野		
記録者氏名	岡	記録年月日	H20 11.30

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>職員で話し合い理念の見直しをし地域の方達と関わりを持ち安心した生活を送ることに重点をおく</p>	○	町内会の廃品回収の手伝いをしたりして交流を深めてはいるがもっと気軽に来て頂く様にしたい
2	<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>ネーム裏の理念を毎日見るようにして毎日のケアに理念を反映しています</p>	○	仕事が終わった後理念が反映されたかどうか振り返り話し合っていきたい
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>面会に来られたご家族の方々には理念を説明している</p> <p>月1回の広報に理念を載せている</p> <p>行事などポスターに理念を記載して地域の方にお知らせしている</p>	○	運営推進会議の際には理念の説明をしているが年間行事を回覧板に載せ参加と共に伝えるようにする
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>出勤時や散歩時に挨拶をして時々立ち話しをして触れ合っている</p> <p>時々近所の方が回覧板を持って来られ話をしている</p>	○	畑の作物が収穫できたら近所の人達におすそ分けできる様に関係を築きたい
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>盆踊りや廃品回収のお手伝いをしたりお祭りには子供たちのホーム前庭が休憩所になっている</p>	○	お祭りで休憩している子供たちと一部の入居者様しか触れ合っていないので全入居者様が触れ合えるようにしたい
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>積極的に地域の実習生の受け入れをして話し合いをしたりしている</p>	○	地域の方々にまだ認知症の研修が実現できていないので実現できる様にしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>管理者、職員全員が外部、自己評価を行えるように参加し会議で外部評価の結果を話し合っている</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議を2ヶ月1回開いており会議で話し合ったことは報告し今後のサービスに活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>地域の皆様が参加できる行事を開催して町内会長さんにも参加して頂き挨拶をして頂く様にしている</p>	○	市町村との連携をもっと図っていきたい
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見制度の研修には必ず出席し学んだことは職員全員に周知している</p>	○	まだ活用する入居者様はいないが必要とあれば活用していく
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>研修会には必ず参加し会議では職員全員に周知してもらうようにしている</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約時には十分にわかりやすく説明し特にご家族が不安に思っていることはよく耳を傾け不安を解消できる様にしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎日の会話の中や表情からその方の思いを知りカンファレンスなどで話し合い検討している	<input type="radio"/>	日中ゆっくりと職員に話されない入居者様は夜勤職員に話しをしたことを職員同士話し合っている
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	広報でお知らせしている 健康状態や何か知らせる必要がある時は電話で知らせそれを連絡簿に記入し職員全員が周知している		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見などはすぐ会議などで話し合っ改めまたホーム内の掲示板や広報でお知らせしている	<input type="radio"/>	昨年から年に1回ご家族にアンケートを取りそれをもとにして質の向上を図りその結果も広報などで知らせていきたい
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回は職員面談をしている 各業務担当者会議をしてその月の業務内容を確認している	<input type="radio"/>	6ヶ月に1度は職員に意識調査などを行っている 毎日5分間全職員とのコミュニケーションを続けていきたい
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	1F、2Fの職員が協力し入居者様の急病または病院受診などで対応できる職員は確保している		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	移動や離職がやむをえない場合も時期や引継ぎの面で努力している 新しい職員が入る場合も入居者様に紹介している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>外部の研修には多くの職員が受講できるようにしている 研修報告は全体会議で発表し他の職員にも報告している</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>市内のグループホーム協議会があり出席して交流を図り研修会などにも出席して質の向上に励んでいる</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>日ごろの管理者と職員との会話及び交流の中で思いを聞き解消できる様にしている</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>職員の資格取得に支援を行っている 資格を取得後評価している</p>	○	能力の評価をしもっと向上心を持ってスキルアップができる環境を作っていきたい
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご本人の生活暦を知り不安などをよく聞きなじみの関係をつくることに努力する</p>	○	ご本人、ご家族に安心感をもって頂くようにご本人の気持ちを大切にしている
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご家族が求めていることに対してよく話を聞き意向に沿うようにしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の思いを聞いてできる支援はするようにするが必要に応じて他の事業所にも協力を依頼しています		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族の方とよく話をし見学をして頂いたり職員が家に訪問したりと顔見知りになり安心してもらうようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	常に人生の先輩として敬うことを忘れずにということを頭に入れて接しています 不安や喜びなどを共にして信頼関係を築くようにしている		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族の思いに添うように日常生活状況を面会時や広報で知らせご家族の思いを共有し支援している		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	行事などにご家族の方が参加して頂く様に誘いご家族の絆を深めるように支援している		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	今までのご自分の生活がそのまま送れるように支援し行きつけの美容室に行くことができるように支援している	○	毎月の命日にはお坊さんがホームに来られるように支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	話を聞いたり悩み事に対して相談にのったりし入居者様同士仲良くして頂ける様職員が仲介している		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	他の事業所へ移られた方にも入居者様と一緒に訪問して交流を深めている	○	ホームの行事に参加して頂いたり継続的な付き合いができるように心がけていきたい
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からも情報を収集して把握するようにしている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族などに聞き取りをして情報の把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	その人らしく生活していく為には日常生活全般の出来ることを把握する		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護の要望なども取り入れアセスメント、モニタリングなどで職員から意見を聞いている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は3ヶ月ごとの見直しをしている また途中で状態変化があればその時点で話し合っ て見直ししている		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人ファイルにその日の様子を記録しまた 申し送りノートなどで職員同士情報を 得ている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を 活かした柔軟な支援をしている。	ご家族などが泊まれる様に支援しているし 病院送迎や買い物などの要望があれば 柔軟に対応している	<input type="radio"/>	地域の高齢者が状況に応じて気軽に 利用できるように取り組みたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員 やボランティア、警察、消防、文化・教育機 関等と協力しながら支援している。	ご本人と地域のさまざまな接点を見出しボ ランティアへの協力を呼びかけている 地域の活動に協力して参加している	<input type="radio"/>	運営推進会議などで民生委員の方も出 席して下さるのでもっとたくさんの意 見を頂き入居者が溶け込んで生活で きる様にしたい
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の 他のケアマネジャーやサービス事業者と 話し合い、他のサービスを利用する為の 支援をしている。	2ヶ月に1回床屋さんが訪問している	<input type="radio"/>	なかなか実現できないが他事業所の 風呂を利用したい また銭湯に行く計画も予定している
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護 や総合的かつ長期的なケアマネジメント等 について、地域包括支援センターと協働 している。	地域包括支援センターにあまり協力は していない	<input type="radio"/>	運営推進会議に出席して頂ける様声は 掛けているが実現できていないので 参加してもらい協力を得たい



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	協力医には週に1回内科往診、2週間に1回は整形外科往診受けている また入所前からかかりつけ医に受診同行の支援している		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	日常生活に何か変化があった時はかかりつけ医に相談して助言をもらい他の病院へ受診している		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週に3回看護師がくるので相談、助言をもらっている		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入退院時にはご本人の状況を医師に話をしている また入院時にはお見舞いに行ったりご家族と話をしながら退院支援をしている		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状態に変化があるごとに医師、看護師と話し合いご家族に伝えご本人の意向も踏まえ職員全体で話し合っている	<input type="radio"/>	終末期の対応方針を文章化し作成しているところです
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	状態変化があるごとにかかりつけ医に連絡しその都度職員連帯して支援している	<input type="radio"/>	これからもご本人、ご家族の意向を大切に医療機関との連携を図っていく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	まだ移り住むことがない		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	毎日のケアの中で適切でないとされる対応について常に注意し会議などでも職員にプライバシーについて徹底している	○	今後もカンファレンスの際には入居者様のプライバシーを尊重し職員の意識向上を図っていきたい
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	職員の押し付けにならないようにいろいろな提案をして入居者様自身が決められるようにしている		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	買い物、散歩など希望があればその都度対応している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	なじみの美容室に行きたい希望があればその都度対応している  決められない着替えの時は職員と一緒に考えて支援している		
54 ○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理の下準備などは見守りしながらして頂いてますし食器洗いは一緒にしたり同じテーブルで食事している  誕生日会には好みのものを提供している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	タバコは希望時に吸うことができるように支援している お酒も行事のときに楽しみの一つとして支援している おやつもなるべく手作りにしている		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者様一人ひとりの排泄パターンを把握して必要な入居者様にはチェック表をつけトイレ誘導している		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	毎日入浴を好む入居者様やその日に入浴するかどうか確認して入浴して頂いている		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中活動して生活のリズムをつけて頂いたり眠れない入居者様には居間で会話をしたり温かい牛乳などを飲んで頂く様支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	食事作り、食器洗い、居室掃除などお願いして張り合いをもって生活して頂いている		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の希望でお金を持っている入居者様がおりスーパーでおやつを買って頂いている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天気の良い日には外気浴をされている また散歩、ドライブ、喫茶店などにも行くよう支援している		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	希望があれば実現できるように支援している		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	手紙、電話の要望があれば支援している また毎年ご家族には年賀状をだしている		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	24時間いつでも面会できるようになっているし笑顔で挨拶をする様心がけている		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束、高齢者虐待に関する研修に出席しそれを会議などで話し認識している		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は玄関にはかぎをかけずに自由に出入りできるよう支援し見守っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	台所においても入居者様の状況を把握するようにしているし夜間は2時間毎様子観察しているし夜間の記録は見通せる位置に座って書いている		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	状態を見ながら裁縫、プラモデルを作る方にはハサミ、ペンチなど任せているが夜間は包丁、ハサミ、ペンチなどはケースに入れて保管している		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	ヒヤリ・はっとは記録して職員に周知し報告書を作成して再発防止に努めている		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	職員全員が救急講習の研修を受けている また消防署の協力を得て救急などの研修を受け夜間時の救急対応マニュアル整備し周知するようにしている		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回避難訓練を行っている		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	予測されるリスクに対するご家族に話し納得させて頂きまた状況が変わったときはその都度説明し理解して頂いています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の入居者様の表情、食欲などの状態に変化があれば記録し必要に応じてバイタル測定し病院受診している		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の用法、副作用などの一覧表を作成している 服用時には手渡しし服用したのを確認してから服薬チェック表に書き込む様にしている		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	なるべく体を動かして頂く様に体操などに参加して頂いている 冷たい牛乳を飲んで頂いています		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	食後声掛けで歯磨きを行ってもらい必要に応じて介助している		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日の食事摂取量、水分量をチェックし記録している		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成して予防対策をしている	○	予防や対応などの内部研修を行い職員に周知している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板、フキンなどを毎日夜勤者がハイター漂白しまな板も使い分けしている 冷蔵庫も食材配達日に整理し残食材を点検している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	入り口に案内板を立てプランターに花を植えてベンチを玄関前に置いている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節を感じて頂くような料理や花を飾るようにしている		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下にソファを置いてタバコを吸うことができたり仲良しの入居者様同士で話をする場所を提供している		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	椅子、時計など使い慣れた物が居室に置かれている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	夏の換気はまめに空気の入替えをしている 冬の換気などもコーヒータイムとおやつ時にしている 湿度計を置いて様子みている トイレには消臭剤を置いている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	物干しの高さは使いやすい高さになっている 車椅子を操作しやすい廊下、手すりがあり自立へ配慮している		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	状態にあわせて環境整備をして生活できるよう支援している		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	玄関前にベンチを置きいつでも日光浴が出来る様になっている		



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎日ある</li> <li>② 数日に1回程度ある</li> <li>③ たまにある</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての利用者</li> <li>② 利用者の2/3くらい</li> <li>③ 利用者の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどいない</li> </ul>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ全ての家族</li> <li>② 家族の2/3くらい</li> <li>③ 家族の1/3くらい</li> <li>④ ほとんどできていない</li> </ul>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ほぼ毎日のように</li> <li>② 数日に1回程度</li> <li>③ たまに</li> <li>④ ほとんどない</li> </ul>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)